

子育てQ & A

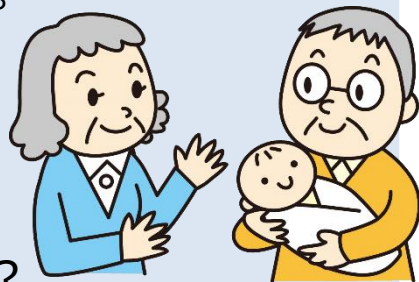


90歳の曾祖母がまだ食べさせたことのない**刺身**や**飴玉**など勝手にあげたことがあり、冷や汗ものでした。刺身は大きいまま口に突っ込んだ結果吐き出す…。親族の集まりで子どもから**目を離さないのは無理**…



子どもの健康面、 安全面は親(保護者)の責任です。

どんな理由があっても子どもの命に関わることは親(保護者)が守らなくてはなりません。祖父母、曾祖父母にはっきりと「飴玉や刺身はまだ食べさせていないのであげないでください」と**毅然と断りましょう**。ただし言い方が難しいですね。そのような時は、血のつながった身内に話してもらう方がカドがたたないでしょう。



例えば、このような**言い方**をしたらどうでしょうか？

- 健診の時に、小児科の先生に「生ものや飴は2歳では止めた方がいい」と言われました
- 生ものや飴やチョコレートは〇歳からと夫婦で決めているんです
- まだ食べさせたことがないので、今日は止めておきますね
- 今あげているおやつは〇〇です。こういうのをあげてくださると喜ぶと思います
- 生ものは「乳幼児期は食中毒のリスクがある」と本に書いてありました
- 先日「おおきな飴を喉に詰ませた」という記事が載っていました